

中尾美園

ある家の 凶譜

Remnants of a house



2022.9.21_水—10.2_日

【開館時間】 9:00-17:00 【休館日】 月曜日 入場無料

【会場】 文化財修復・展示棟 B1F / 芸術文化体験棟 3F スタジオ303

Nara Prefecture Historical and Artistic Culture Complex

なら歴史芸術文化村

滞在アーティスト誘致交流事業 成果発表展

ある家の図譜

Remnants of a house

 なら歴史芸術文化村



〔高橋家切〕2022 墨、顔料、和紙



制作風景

一軒の住宅を解体した際に採取した「家の断片」を持ち込み、考古学、民俗学、文化財修理などの専門家との交流やリサーチを行いながら、なら歴史芸術文化村にて約1カ月半の滞在制作を行いました。本展では比較的新しくも、いまや歴史となりつつある昭和時代の家に焦点をあて、わたしたちの文化財に対する視点への問いかけを試みます。

中尾 美園

● 親子向けワークショップ「モフモフの図譜」

子どもの頃から、それがないと眠れない毛布、触り心地がよくてずっと触り続けてヨレてしまったタオル、ぬいぐるみなど、フワフワでモフモフしていて、何だか暖かくて、心地よいもの。そんな大事な宝物を、一枚の絵に日本画の絵具で描いてみよう。

2022年10月1日(土) 13:00-15:00

定員親子5組(対象年齢5歳以上)・無料[事前申込制・先着順] [申し込みはこちら>>](#)



● アーティストによるガイドツアー

展覧会をアーティストと一緒に巡りながら、作品をより深く楽しみましょう。

2022年9月25日(日) 開始時間 | 11:00、13:30(各回40分程度)

定員15名・無料[事前申込制・先着順]

[申し込みはこちら>>](#)



中尾 美園 NAKAO Mien

1980年大阪府生まれ。京都市立芸術大学大学院美術研究科保存修復専攻で模写を通して東洋絵画を学ぶ。近年の主な展覧会にアッセンブリッジ・ナゴヤ 2016 現代美術展「パノラマ庭園—動的生態系にするすー」(ボタンギャラリー、愛知、2016年)、「うつす、うつる、」(Gallery PARC、京都、2018)、「SEIAN ARTS ATTENTION 12 Roots Routes Travelers」(成安造形大学、滋賀、2019)、「ボイスオーバー 回って遊ぶ声」(滋賀県立美術館、滋賀、2021年)等がある。京都市在住。

[滞在中の活動の様子ははこちら>>](#)



〔所在地〕〒632-0032 奈良県天理市杣之内町437-3

〔アクセス〕JR・近鉄天理駅より直通バス、直通デマンドシャトル運行(有料) 奈良交通バス「勾田」下車徒歩15分・無料駐車場あり

〔開館時間〕9:00-17:00 休館日:月曜日(祝日の場合は翌平日が休館)

交流にぎわい棟9:00-18:00(月曜営業・レストランは20:00まで)

滞在アーティスト誘致交流事業

公募により選出されたアーティストが、奈良県の豊かな歴史・芸術・文化の魅力を吸収し、新しい視点や切り口で作品制作を行います。文化村の芸術文化体験棟スタジオ303を拠点に制作を行うことで、様々な人々との交流が期待され、その刺激も作品へと繋がります。アーティストと鑑賞者が交流し、そのプロセスに触れることで理解を深めます。

【前期】2022年8月2日(火)ー9月26日(月) 中尾 美園

【後期】2022年10月1日(土)ー12月18日(日) 大西 健太郎

滞在アーティスト誘致交流事業は、
天理アーティスト・イン・レジデンスモデル事業を継承しています。

奈良県天理市では、「芸術文化に出会える街」として平成30年度よりアーティストを誘致し、市民がアートに触れる機会を創出する取り組みを展開しています。

〔問い合わせ〕なら歴史芸術文化村 滞在アーティスト誘致交流事業実行委員会事務局 Tel 0743-86-4420 (代表)

※今後の新型コロナウイルス感染症やその他の状況によっては、イベントを中止、または内容を変更する場合があります。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染予防対策を徹底して開催します。

主催:なら歴史芸術文化村 滞在アーティスト誘致交流事業実行委員会(なら歴史芸術文化村・天理大学・天理市)

協力:一般社団法人CHISOU デザイン:長砂佐紀子(SUNA) 写真:衣笠名津美



<https://www3.pref.nara.jp/bunkamura/>